

【指導案】

Tongaliワーク 総合的な探究の時間編③

◆ねらい
身近な課題を解決する方法を、新しいアイデアを通して課題解決を行う起業家の先輩から学ぶ。

◆生徒の準備物

- ①ワークシート
- ②筆記用具

◆教員の準備物

- ①動画へのアクセス (<https://tongali.net/entrepreneur-interview/>)
- ②プロジェクターとインターネットに接続できる端末、音声を流せる環境
- ③インターネット環境
- ④時間を計るもの



開始時間	終了時間	所要時間(分)	生徒のワーク・学習活動	ファシリテーション原稿案 (カッコ内は先生の説明内容)	ワークが進んでいない生徒への声掛け
0:00	0:06	6	〈オリエンテーション〉 この時間の目的や進め方の理解	▶「みなさんは、日常生活の中で不便なことや不安だと感じることはありますか？」 ▶「今日起きてから今までで経験した、不便や不安を感じる出来事やニュースなどを周りの人と少しお話ししてみましょう。」 ▶「世の中には多くの人を困らせている課題がたくさんありますね。」 ▶「今日は、自分のアイデアで課題解決に取り組む起業家さんへのインタビュー動画を見ましょう。」	
0:06	0:16	10	動画視聴	▶「早速動画を流します。」 ▶「起業家である富田さんは、どのような課題をどんな方法で解決しようとしているのでしょうか。」 ▶「動画を見終えた後に、ワークシートに記入する時間を取りますが、メモしたいことがあれば見ながら記入しても構いません。」	
0:16	0:24	8	1. 起業家の事例から学んでみよう 記入	▶「それでは、ワークシートの1に取り組みましょう。」 ▶「動画を観ての感想や心に残ったこと、聞いてみたいことや分からなかったことなどを記入してみてください。」	▶「一番印象に残った言葉などがあれば、それを思い出して書いてみましょう。」 ▶「よくわからなかったことや聞きたいことがあれば、それをそのまま書いても構いません。」 ▶「富田さんは、具体的にどのような課題を解決したいと考えていましたか。」
0:24	0:30	6	1. 起業家の事例から学んでみよう 共有	▶「では、今書いた感想を周囲と共有してみましょう。」 ▶「共有が早く終わった場合は、富田さんが扱う課題について知っていることや関連するニュースなどについて話してみてください。」 ▶「自分の考えを順番に1人ずつ発表していきましょう。」	
0:30	0:37	7	2. 身近な課題をどのように解決するか考えてみよう 記入	▶「ここからは、ワーク2に移ります。」 ▶「ここでは、自分の身近な課題とその解決方法まで考えてみましょう。」 ▶「授業の最初で周囲と話し、今日経験した課題を書いても構いません。」 ▶「それでは、6分ほどとるので、取り組んでみましょう。」	▶「ニュースで見聞きしたことや、家族が困っていたこと、自分が学校生活や通学などで困ったことなどから探してみましょう。」 ▶「『いらいらしたこと』や『もやもやしたこと』などから考えてみるのも良いです。」 ▶「解決策は、実際にできるかどうかを気にせずに、思いついたことを書いてみましょう。」
0:37	0:40	3	2. 身近な課題をどのように解決するか考えてみよう 共有	▶「では、書いたことを周りの人と共有してみましょう。」 ▶「自分にはない考えや発見は空いているところにメモしておきましょう。」 ▶「振り返りのところで、仲間の感想から学んだことを書いていきます。」 ▶「自分の考えを順番に1人ずつ発表していきましょう。」	▶「解決策は1つではありません。他の解決策はないのか、たくさんアイデアを出し合ってみてください。」
0:40	0:46	6	3. 振り返り	▶「では、今日の振り返りを書いてみましょう。」 ▶「先ほどの共有で、仲間から学んだことについてはこの欄に書き記しておきましょう。」	
0:46	0:50	4	まとめ	▶「今日は、起業を通して社会課題解決に取り組む社会人のお話を聞きました。」 ▶「起業家は、課題解決を通して誰かを助けるために新しいものを開発しています。」 ▶「みなさんも、身近な課題に対して、新しい解決策を考えて実際に取り組むということを、ぜひやってみましょう。」	